

# ごみ処理施設建設場所の選定について

## 報 告

平成 1 5 年 1 2 月

長野広域連合ごみ処理施設建設及び管理運営計画策定委員会

## ごみ処理施設建設場所の選定について

長野広域連合ごみ処理施設建設及び管理運営計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）は、本年5月に広域連合長からの委嘱を受け、本連合が整備する予定のごみ処理施設の建設及び管理運営計画の策定に取り組んでいるところであるが、これまでに、県外の最新施設3か所及び本広域圏内で稼働中の4施設の状況を調査するとともに7回の審議を重ねて来た。

このうち、施設の建設場所については、下記の理由により、焼却施設1施設目は長野市内に、2施設目は更埴ブロック（千曲市、坂城町）内に、最終処分場は須高（須坂市、高山村）ブロック内に建設することが適当であるとの結論に達した。

既存施設の現況及び施設建設のスケジュールを考慮すると、建設場所の選定は第一の急務であるため、中間提言に先立ち、この問題についての検討結果を報告する。

### 記

#### 1 検討委員会提言の具体化

平成14年12月に行われた長野広域連合ごみ処理施設整備検討委員会提言によれば、

最終処分場の整備に当たっては、広域的な見地に立って、特定の市町村に集中・依拠しないようにすることが重要であり、焼却施設の建設市町村を十分考慮して決定すべきである。

埋立完了後は、他の市町村が交代して施設を受け持つことも必要である。施設整備の調整に当たっては、広域圏全体の問題として捉え、施設が同一の市町村に集中することのないよう配慮すべきである。

とされているが、これを具体化する方法について協議した結果、本連合管内を大きく5ブロック（長野市、須高ブロック、更埴ブロック、北部ブロック、西部ブロック）に分割し、ブロック単位に施設を配置することが適当であると判断した。

#### 2 選定の理由

焼却施設1施設目を長野市内とする理由

施設稼働予定の平成23年度の市町村別人口及びごみ排出予測量によると、長野市は圏域全体の人口の約3分の2を占め、ごみ発生量は7割を超えると推計されるため、ごみの排出量に応じた処理責任の観点から、長野市内とす

ることが適当である。また、収集運搬の効率性の点から見ても、1施設目は長野市内に設置することが妥当と考えられる。

#### 焼却施設2施設目を更埴ブロック内とする理由

1施設目を長野市内に設置した場合、圏域全体の地形、幹線道路網及び地域バランスを考慮すると、更埴ブロック内に2施設目を設置することが望ましい。また、更埴ブロックは、将来人口及びごみ排出予測に占める割合が圏域内で2番目に大きく、処理責任及び収集運搬の効率性の観点からも妥当と考えられる。

#### 最終処分場を須高ブロック内とする理由

残り3ブロック（須高ブロック、北部ブロック、西部ブロック）から1ブロックを選び出すに当たっては、埋立完了後は、他のブロックが交代して施設を受け持つことを条件とした上で、ごみの排出量に応じた処理責任の大きさを勘案し、人口とごみ排出量が最大の須高ブロック内に1施設目を設置することが妥当と考えられる。

以上のとおり報告する。

長野広域連合長 鷲 澤 正 一 様

平成 15 年 12 月 25 日

長野広域連合ごみ処理施設建設及び管理運営計画策定委員会  
委員長 富 所 五 郎